

vol. 2340

【発行】大分県高等学校教職員組合教宣部 大分市大字下郡496-38 大分県教育会館
TEL / (097) 556-2838 FAX / (097) 556-8998 MAIL / ohtwu@view.ocn.ne.jp

大分県高教組情報

【発行者】大野 真二 【印刷】(株)佐伯コミュニケーションズ 【売価】30円(組合員の購読料は組合費の中に含んで徴収しています)



今号の掲載内容 (掲載順)

- 2026年新春のごあいさつ

2026年新春のごあいさつ

教育現場の環境改善と、平和と民主主義を守るとりくみを

大分県高等学校教職員組合

執行委員長 ^{おおの} ^{しんじ} 大野 真二

あけましておめでとうございます。

昨年、平和に見えていた社会に広がる危機が顕在化した年になりました。7月の参院選では、外国人排斥を訴えた政党が議席数を大幅に伸ばしました。参院選の結果、衆参両院で自公与党が過半数割れという状況をつくり出しながら、結局、自民党首班の内閣を阻止することができませんでした。力強さの演出に余念がない高市首相は、就任早々に台湾有事に対する発言で、中国を刺激しました。中国に対して不快感を持つ人が増えていますが、それを差し引いても経済等の日中関係を考慮すれば不用意な発言であったはずですが、しかし、高市発言を好意的にとらえる人が多くいます。また、政府高官の核兵器保有発言も報道されました。残念なことに、「当たり前のことを言って何が悪い」と擁護する声が多く上がっており、かつオフレコの発言を報道したメディアに対する批判の声が上がっています。思想信条の自由は誰にでも保障される権利である。それは自明ですが、政権の中核にある人物が、政府見解や国際社会に対して表明する日本の態度について、軽々しく個人の見解を述べるべきではないということがなぜ分からないのでしょうか。核兵器禁止条約に積極的でない日本政府は、「アメリカ軍の核の傘が」などと論点をずらしていますが、今回の核兵器保有発言は、まさに「それを言っちゃあおしめえよ」というものです。実は、もう何年も前に外れていたのですが、反戦平和の立場からすれば、2025年は社会のタガが外れたことに気付かされた年になりました。

学校現場の過酷な状況を改善しなければなりません。多忙化の根源とも言える「給特法」の廃止あるいは抜本的改正を目標に据え各交渉でとりくんできましたが、今のところ教職調整額の増額でお茶を濁されています。私たちが求めているのはお金ではなく「定時で帰れる職場」です。学校現場の多忙は全く解消されず、分会における組合活動の核となる「職場集会」をなかなか開くことができない現状には、虚脱感すら漂います。そのつらさを乗り越え組織の力を結集し、勤務労働条件の改善はもちろん、学校をめぐる諸課題の解決をはからなければな

りません。そして「教え子を再び戦場に送るな」の決意のもと、一層厳しさを増した社会情勢の中にあっても、反戦平和・憲法改悪阻止にとりくむことを確認し、年頭のあいさつといたします。

すべての子どもにゆたかな学びの保障を

日本教職員組合 中央執行委員長 ^{かじわら}梶原 ^{たかし}貴

あけましておめでとうございます。

皆様方にとってご健勝で、充実した1年になりますことを心よりお祈りいたします。

さて、2026年1月1日より改正給特法の一部が施行されました。約50年ぶりに教職調整額が段階的に引きあがり、4月には時間外勤務を2029年度までに月平均30時間程度まで減らす業務量管理・健康確保措置等、具体的な事項が施行されます。日教組は引き続き、業務削減、定数改善、給特法の廃止・抜本的見直しを求めています。また、国連教職に関するハイレベルパネル勧告の「公教育への資金はGDPの少なくとも6パーセント、政府支出総額の20パーセントが保障されるべき」にもとづき、教育インターナショナル（EI）加盟各国組織と連携して、教育予算拡充にむけ“Go Public Fund Education”キャンペーンにとりくんでまいります。

24年度の不登校の子ども数は過去最多で、いじめの認知件数や暴力行為、児童虐待も増加し、子どものいのち・人権に関わる深刻な状態です。地域・学校等において子どもの権利条約・こども基本法を広く浸透させ、子どもの最善の利益が保障される、インクルーシブな学校・社会を実現していきましょう。

世界では、自国第一主義や排外主義が勢力を伸ばし、国内においても昨年、連立政権の枠組みが変わり、新しい政権が発足しました。そうした中、日教組が求める平和、人権、環境、共生が保障された社会の実現にむけて、組織拡大をすすめつつ、子どもたちのため、なかまのため、ともに運動を前進させていきましょう。

以上、メッセージとさせていただきます。

理解・共感・参加の輪を広げ 組織の未来を切り拓く!へ

日本労働組合総連合会・大分県連合会 会長 ^{いしもと}石本 ^{けんじ}健二

大分県高教組の皆様、謹んで午年年頭の御祝詞を申し上げます。

昨年は、7月の第27回参議院議員選挙・大分選挙区において、連合大分に結集する全ての皆様の精力的なとりくみにより、2023年4月の補欠選挙のリベンジを果たすことができました。しかしながら、比例代表選挙では連合推薦の組織内候補者全員の勝利とはなりませんでした。

連合組合員は約700万人、組織内候補10名の得票合計は約132万票。この結果を私たち労働組合として、どの様に受け止めるのか。全ての運動推進の源泉は組織力であることは論を俟ちません。日常の組合活動はもちろん政策実現とその手段である政治・選挙活動の意義や必要性を、わかりやすくタイムリーに発信し、少なくとも組合員の皆さんから理解と共感が得られ参加に繋がる活動としていかなければなりません。変革が難しいといわれる労働組合ですが、過去や前例に囚われることなく、それを皆で考え実践することで、組織の未来を切り拓く年にしていきましょう。

核も戦争もない社会をめざして

大分県平和運動センター事務局長 佐藤 俊生

大分県高等学校教職員組合のみなさん、新年あけましておめでとうございます。この間の、大分県平和運動センターへの支援に心より御礼申し上げます。あわせて、大野真二議長を選出いただいていることにも感謝申し上げます。

さて、高市政権による安全保障3文書の改定、スパイ防止法制定、憲法改正など平和国家の理念を放棄するに等しい政策に危機感を抱かざるを得ません。

私たちは、これまで武力ではなく対話による平和外交、生活改善と人権尊重につながる政策実現を求め、核兵器廃絶の実現に向けとりくんできました。大分県平和運動センターは、これからも憲法理念を基本に様々な課題の解決と労働者の生活と権利を守る運動を展開して参ります。

結びに、本年が皆様方にとって幸多き年、希望の持てる年になりますようご祈念し、年頭のご挨拶にさせていただきます。

長時間労働の是正・解消へ正念場

日政連・衆議院議員 吉川 元

新年あけましておめでとうございます。本年も旧年中と変わらず、ご指導、ご支援をお願いいたします。

さて、昨年の通常国会で「給特法」が改正され、段階的に教職調整率が引き上げられることになりました。しかし、調整率の引上げが教員の長時間労働の是正、教員不足解消に直結するわけではありません。むしろ、教員の長時間労働の是正は、これからが正念場。教員定数の改善、持ちコマ数の削減、そして教員の勤務時間を労基法上の労働時間と位置付けるための「給特法」の抜本改正。日政連議員の一員として、その実現に向け、皆さんと一緒に全力を挙げます。

自民・維新による新たな連立政権。高市総理は、物価高による暮らしの疲弊に背を向けるかのように防衛費の対GDP2%達成の前倒しを図るなど、その危険な姿勢を隠そうともしていません。働く人の処遇、地域で暮らす人の暮らし、そして日本の平和を守るため、高市政権と厳しく対峙してまいります。

今年もみなさんの声を届けます

日政連国会議員団会長 参議院議員 水岡 俊一

あけましておめでとうございます。日政連参議院議員みずおか俊一です。

昨年は、「改正給特法」が重要広範議案として審議され、国会で学校現場の様子が取り上げられる機会が多くありました。しかし、今回の改正はさらなる抜本的改革の第一歩に過ぎません。引き続き、なかまとともに国会でのとりくみを続けます。

また、7月には参議院議員選挙があり、前年の衆院選に続いて参議院でも与野党拮抗の状況となったことから、総理や連立与党の枠組みも変わりました。国会の様子は大きく変わっています。私はおかげさまで4期目の当選を果たすことができました。

もともとタカ派として知られる高市総理のもとで、日本の「平和」は大きく揺らいでいます。いまこそ国会が内閣をしっかりと監視しなくてはなりません。

今年も全国の日政連自治体議員と連携しながら、みなさんの声を政府へと届けてまいります。引き続き、日政連議員にみなさんの思いをお寄せください。

生徒の思いを中心に据えた高校教育をめざして

日政連・参議院議員 古賀 千景

大分高教組の皆さん、あけましておめでとうございます。

昨年は給特法が改正されました。立憲民主党が中心となって「持ち時数の削減」「教育課程の編成の検討」「義務標準法の改定」等を附則に盛り込んだのは前進ですが、具体的な数字はこれからとなります。

また「高等教育の修学支援新制度」の拡充という事で子ども3人以上の世帯への大学等の授業料等の無償化が拡充されましたが、周知が徹底されず、現場は混乱しました。

今年は「高校授業料無償化法案」が3月までに出てきて、4月から施行と言われていますが、この時期（12月中旬）になっても詳細はまだ出てきていません。高校現場においては、どのような状況になるのか見通すことが難しく、困惑されているのではないのでしょうか。高校の部活動の地域移行も進んでおりません。

今年も、このような様々な教育現場の課題解決に向けて、国会で論議をしながら、とりくんでまいりますので、よろしく願いいたします。

明るい希望の持てる年に

立憲民主党大分県総支部連合会代表・参議院議員 吉田 忠智

新年あけましておめでとうございます。

昨年は皆様方の力強いご支援ととりくみにより、参議院選挙大分選挙区で当選することができました。心からお礼申し上げます。

参議院選挙での自由民主党の惨敗を受けて、史上初めて女性の高市早苗衆議院議員が内閣総理大臣に選出されました。高市総理は、「強い経済」「責任ある積極財政」を掲げ、アベノミクスの事実上の継続、労働時間規制の緩和、プライマリーバランスの単年度堅持方針の緩和、防衛3文書の見直しと防衛費の大幅増額など問題の多い政策を進めようとしています。少数与党ですから、今後しっかり意見反映を行い、政策の転換を求めています。

私は、物価を上回る実質賃金の引き上げ、学校現場の厳しい勤務実態改善、平和憲法を守り活かす外交防衛政策の推進など課題の前進に向けて尽力する決意です。

本年が組合員・ご家族の皆様方にとりまして、明るい希望の持てる年になりますよう祈念申し上げます。

混迷を極める政治情勢のもと 「平和」「護憲」の旗印を!

社会民主党大分県連合代表 原田 健蔵

大分県高教組に結集する組合員の皆さん、明けましておめでとうございます。

昨年の節目となる第30回定期大会にて、はからずも代表に選任されました、豊後大野市議会議員の原田健蔵と申します。

2005年9月の小泉郵政解散選挙にて見事返り咲きを果たした重野安正、そして吉川はじめ両代議士の地元秘書として通算10年間、高教組の皆さんには大変お世話になりました。

日本国内外を問わず政治情勢は以前より混迷を極め、「平和」の危機と言わざるを得ません。高市新政権は、アメリカ追従の軍備力増強を推し進めようとしています。「平和」「護憲」を旗印とする社民党は、今一度決意を新

たに皆さんと共に連帯し、様々な活動にとりくんでまいります。

結びに、新しい年が実り多き一年となりますことを心から祈念申し上げます。

平和と民主主義を守るために共にならぼう

大分市議会議員 ^{たかの}高野 ^{ひろゆき}博幸

新年あけましておめでとうございます。

昨年2月に行われました大分市議会議員選挙では、高教組の皆さまの力強いご支援をいただき8期目の当選を果たすことができました。心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、教育現場を取り巻く環境は、長時間過密労働による精神疾患で病休する教員が続出し人員が不足し、ゆったりと子どもたちと向き合うゆとりをなくしています。そのためか小中高生の不登校生徒数、自殺者ともに増加傾向にあります。教職員の増員と処遇改善は急務であります。

軍事予算は2027年には10兆円以上になる予定で、軍事予算だけうなぎ上りで、教育、農業、医療・介護・福祉の予算が圧迫されています。税金は暮らしや教育や福祉に使われるべきです。

今後とも平和と民主主義を守るために、皆さまと共にがんばってまいります。結びに今年1年が皆さまにとって良い年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

日退教、高教組運動と一体となり平和を守ろう

大分県高等学校退職教職員協議会会長 ^{かじわら}梶原 ^{さとる}悟

高教組の皆さん、新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく申し上げます。

高退教は「民主教育を進める県民会議」などを通して、高教組・県教組・保護者の皆様、退現教、県民クラブの県議、平和センターと共に、平和・人権・民主主義を守る運動をしています。

独自の運動として、定期総会や懇親会を行うと共に、高退教会員のきずなを深める為に、通信を発行しています。さらに、日退教・九プロの仲間と共に全国的な運動にも参加しています。

さて、衆議院・参議院選で与党が大敗したように見えますが、あれは自民党の「オウngoール」です。女性の首相が誕生しましたが「なりやあいい」でもんじゃありません。刺激的な言動は控え、今こそ緊張緩和の平和外交をしてほしいものです。もしかすると、高支持率を背景に来年早々衆議院選挙があるかもしれません。絶対に憲法と平和を守る運動を共に戦いましょう。



あけましておめでとうございます

大分県高校生協は、教職員の福利厚生に一端を担う相互扶助組織とする職域生協として、組合員の安全で安心して暮らしてを求め、ともに支え合う共生社会の実現のために、職員一丸となってがんばっています。本年も大分県高校生協のご利用とご協力をお願いいたします。

- 共同購入
- 指定店・協力店
 - 紳士服 メガネ 宝石 文具/事務機 高麗人参
 - 豚肉加工品 白蟻予防/駆除 住宅/マンション 塗装
 - 住宅機器 リフォーム デザイン/印刷/翻訳
 - ガソリン 電解水素水浄水器 他
- 旅行・航空券
- 指定整備工場
- 葬祭事業
- 共済・保険事業
- クレジットカード
- オンラインショッピング (PC・家電・書籍)

協同の輪をひろげ、組合員のくらしと仕事を総合的にサポートする
平和で安心して暮らせる社会の実現をめざして

大分県高等学校生活協同組合

理事長 大野 真 二
専務理事 瀬 尾 彰 一

大分市大字下郡496-38 大分県教育会館内
TEL：097-556-4666/FAX：097-556-9388
URL：www.oita-koseikyoku.school-info.jp/

あんしん むすぶ 教職員共済

<https://www.kyousyokuin.or.jp/>

あけましておめでとうございます

今年も各共済のご加入・ご利用よろしく申し上げます。

教職員共済とは

- 厚生労働省の認可を受けた、共済事業を行う生協です。
- 教職員・教育関係者だけが加入できる共済生協です。
- 教職員を組合員とする、教職員と家族を守るための共済生協です。

「教職員」の皆さまの生活をトータルサポート!

- | | | | |
|--------------------------------------|---|--------------------------------------|-------------------------------|
| 総合共済 | トリプルガード
<small>(団体生命共済・医療共済)</small> | レスキュースリー
<small>(交通災害共済)</small> | 自動車共済 |
| 火災共済
<small>(住宅火災共済・火災共済)</small> | 新・終身共済
<small>(終身生命共済)</small> | 年金共済
<small>(年金共済・遺族年金共済)</small> | 車両共済
<small>(車両保険)</small> |
| 自然災害共済 | | | |

※総合共済以外の共済は、ご退職後もご利用いただけます。

厚生労働省認可

教職員共済生活協同組合 大分県事業所 所長 近藤直美

大分市大字下郡 496-38 大分県教育会館 2F TEL：097-556-4300

あけましておめでとうございます

皆さまにおかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年もよろしく申し上げます。ここ数年に渡り、物価の高騰が家計に大きな影響を与えています。経済的な不安を解消するため、ろうきんでは、いつでも低金利な各種ローン商品を準備しています。是非、ご相談ください。

ろうきんは設立以来、一貫してめざしてきた金融商品・サービスの提供による勤労者の経済的地位の向上に向け、今後も皆さまにとってより良い提案活動を行なってまいります。

今後とも、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



九州労働金庫大分県本部
本部長 岡部勝也

アプリからローンのご相談・仮申込等ができます!



アプリのダウンロードはこちら!



謹 賀 新 年

あけましておめでとうございます。

旧年中に組合員の皆さんからいただいたご厚情に深く感謝申し上げます。

私たちは「教え子を再び戦場に送るな」の不滅のスローガンのもと、

憲法改悪を許さず、いのちを守るとりくみに邁進します。

皆様の今年一年のご多幸を心よりお祈り申し上げます。



- | | |
|---------------|---------------|
| 執行委員長 大野 真 二 | 執行委員 緒方 里 美 |
| 副執行委員長 福田 洋 平 | 執行委員 河野 淳 平 |
| 書記長 首藤 哲治郎 | 書記 葛城 美華子 |
| 書記次長 竹本 哲也 | 書記 但馬 智恵美 |
| 執行委員 後藤 恵 美 | 書記 野村 宏 美 |
| 執行委員 窪田 一 真 | 特別執行委員 則松 佳 子 |